

小児事故の地域差に関する検討

(分担研究：子どもの事故とその予防に関する研究)

田中哲郎¹⁾、福島靖正²⁾

1)国立公衆衛生院母子保健学部、2)和歌山県福祉保健部

要約： 事故による死亡率は都道府県別にみると年齢階級により異なるものの2.9～5.1倍と大きな差がみられた。また、政令都市の死亡率は全国平均に比べ著しく低値であった。政令都市の交通事故による死亡率は全国平均の約60%、溺水は40%程度であった。この理由を明かにすることにより、わが国の子どもの事故による死亡率を減少させる手掛かりになるものと考えられた。

見出し語 事故、事故防止、地域差

はじめに

子どもの事故は1歳以降の小児期の死因順位の第1位で、総死亡数の3分の1を占めており、事故防止は子どもの健全育成上で重要な課題である。

子どもの事故防止を行う上で、地域の特性の有無を知ることは重要と思われたので、都道府県別、政令都市別に事故マップなどを作成し地域差について検討を行った。

対象と方法 厚生省統計情報部が報告書に記載せず保管している都道府県別、年齢階級別の人口動態統計を使用した。都道府県別、年齢階級別に事故による死亡をみると、死亡者は少なく、年によりばらつきが大きいと考えられたので、平成6年より平成2年までの5年間の平均値とした。

都道府県別、年齢階級別の人口は平成2年の国勢調査の確定人口を使用し、死亡率は人口10万対とした。

結果 1)子どもの事故による都道府県別死亡率(人口10万対)

(i)0歳 子どもの事故による死亡率が低い県は福井県14.03、長野県16.77、静岡県17.73であった。高い県は石川県47.87、奈良県45.82、徳島県43.75であった。全国平均は27.11であった。最も高い県と低い県の差は3.4倍であった。

(ii)1～4歳 低い県は神奈川県6.09、東京都

6.76、徳島県7.47であった。高い県は佐賀県21.07、福井県20.67、長崎県20.24であった。最も高い県と低い県の差は3.5倍で、全国平均は13.35であった。

(iii)5～9歳 低いのは東京都3.50、奈良県3.99、神奈川県4.22であった。高い県は香川県10.15、佐賀県9.98、大分県9.90であった。最も高い県と低い県の差は2.9倍で、全国平均は6.95であった。

(iv)10～14歳 低い県は富山県1.19、福井県1.73、東京都1.81であった。高い県は秋田県6.10、香川県5.58、山口県5.51であった。最も高い県と低い県の差は5.1倍で、全国平均は3.27であった。

2)政令都市と全国の比較

(i)0歳 不慮の事故の死亡率は全国平均では27.11で、政令都市は20.46と低かった。事故の種類別にみると全国平均を100%とした場合、政令都市は自動車事故31.2%、溺死48.0%、機械的窒息85.7%であった。

(ii)1～4歳 不慮の事故の死亡率は全国平均では13.35、政令都市は8.22であった。全国平均を100%とすると政令都市は不慮の事故61.6%、自動車事故56.3%、溺死34.3%と低値であった。

(iii)5～9歳 不慮の事故の死亡率は全国平均では6.95、政令都市は4.42であった。全国平均を100%とすると、政令都市は不慮の事

故63.6%、自動車事故68.8%、溺死41.2%で著明に低値であった。

(iv)10~14歳 不慮の事故の死亡率は全国平均では3.27、政令都市で2.91であった。全国平均を100%とすると、政令都市は不慮の事故89.0%、自動車事故94.2%、溺死61.9%であった。

考察 子どもの不慮の事故の地域差について検討したところ、年齢階級によっても異なるが県別にみると、多い県と少ない県では2.9~5.1倍の差がみられた。11政令都市は著明に低値で、1~4歳、5~9歳では政令都市の事故による死亡率は全国平均の約3分の2程度、特に溺水事故は34~41%と著明に低値であっ

た。これらの差は、都市部の救急体制整備の相異だけでは説明できず、保護者の事故防止の意識の違いなども関与している可能性があると考えられる。

政令都市の事故による死亡率は北欧や英国など事故による死亡率の低い国の値¹⁾とほぼ同じであった。このことより、この差を明らかにすることができれば、わが国の事故防止対策のカギは隠されていると考えられた。

文献

1) 田中哲郎：小児期における不慮の事故死についての国際比較，日本医事新報，3359，30-34，19883.

不慮の事故

0 歳		1~4歳		5~9歳		10~14歳	
石川県	47.87	佐賀県	21.07	香川県	10.15	秋田県	6.10
奈良県	45.82	福井県	20.67	佐賀県	9.98	香川県	5.58
徳島県	43.75	長崎県	20.24	大分県	9.90	山口県	5.51
福島県	37.15	熊本県	18.92	青森県	9.20	岡山県	4.78
佐賀県	36.36	山梨県	17.63	島根県	9.14	北海道	4.74
鹿児島県	35.02	青森県	16.94	鹿児島県	9.11	茨城県	4.47
山口県	34.70	鹿児島県	16.67	岩手県	9.05	徳島県	4.26
茨城県	34.32	宮崎県	16.66	鳥取県	8.97	宮城県	4.16
大阪府	32.99	岐阜県	16.14	秋田県	8.93	鳥取県	4.09
広島県	31.53	宮城県	15.39	熊本県	8.75	長崎県	4.04
高知県	30.58	長野県	15.22	茨城県	8.54	島根県	4.01
北海道	30.51	愛媛県	15.15	和歌山県	8.38	高知県	3.61
秋田県	30.51	福岡県	15.11	宮崎県	8.14	沖縄県	3.61
群馬県	29.89	秋田県	14.57	岐阜県	8.12	広島県	3.61
島根県	29.64	石川県	14.55	徳島県	7.87	群馬県	3.53
青森県	29.44	大分県	14.49	北海道	7.87	熊本県	3.51
埼玉県	29.20	福島県	14.30	福島県	7.84	鹿児島県	3.49
兵庫県	29.15	和歌山県	14.04	長崎県	7.83	福島県	3.47
三重県	28.07	北海道	13.86	新潟県	7.81	新潟県	3.38
山梨県	27.93	広島県	13.78	福井県	7.34	三重県	3.36
長崎県	27.84	岡山県	13.76	岡山県	7.31	愛媛県	3.33
岡山県	27.70	山口県	13.72	宮城県	7.08	佐賀県	3.31
神奈川県	26.00	茨城県	13.70	高知県	6.96	福岡県	3.20
千葉県	25.89	香川県	13.67	山形県	6.90	栃木県	3.20
大分県	25.53	岩手県	13.56	静岡県	6.76	兵庫県	2.93
沖縄県	24.75	栃木県	13.46	三重県	6.57	岩手県	2.91
宮崎県	24.62	新潟県	13.42	沖縄県	6.49	京都府	2.89

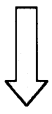
0 歳		1~4歳		5~9歳		10~14歳	
富山県	24.58	山形県	13.24	富山県	6.26	石川県	2.84
岐阜県	24.53	富山県	12.90	石川県	6.25	山梨県	2.75
愛知県	24.11	鳥取県	12.23	福岡県	6.24	和歌山県	2.75
福岡県	23.87	高知県	12.17	愛媛県	6.19	静岡県	2.74
新潟県	23.83	静岡県	12.07	群馬県	6.07	愛知県	2.72
愛媛県	23.41	島根県	11.93	栃木県	5.98	青森県	2.71
香川県	23.24	三重県	11.79	愛知県	5.63	長野県	2.65
岩手県	22.32	兵庫県	11.37	千葉県	5.47	奈良県	2.63
熊本県	22.28	群馬県	11.05	兵庫県	5.45	千葉県	2.58
滋賀県	22.12	千葉県	10.82	山梨県	5.41	埼玉県	2.58
和歌山県	22.02	滋賀県	10.77	大阪府	5.27	滋賀県	2.57
山形県	19.18	埼玉県	10.43	京都府	5.15	神奈川県	2.54
鳥取県	19.10	愛知県	10.17	滋賀県	5.07	岐阜県	2.53
宮城県	18.90	大阪府	9.59	広島県	5.07	宮崎県	2.41
東京都	18.88	奈良県	9.21	長野県	4.99	大阪府	2.40
京都府	18.21	京都府	8.81	埼玉県	4.83	山形県	2.30
栃木県	18.08	沖縄県	7.90	山口県	4.73	大分県	1.99
静岡県	17.73	徳島県	7.47	神奈川県	4.22	東京都	1.81
長野県	16.77	東京都	6.76	奈良県	3.99	福井県	1.73
福井県	14.03	神奈川県	6.09	東京都	3.50	富山県	1.19

子どもの事故死亡率の全国と政令都市の比較 (人口10万対)

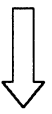
(平成2年~平成6年)

年 齢		不慮の事故	自動車事故	不慮の溺死	不慮の機械的窒息
0 歳	全 国	27.11 (100.0)	2.31 (100.0)	2.46 (100.0)	18.78 (100.0)
	政令都市	20.46 (75.5)	0.72 (31.2)	1.18 (48.0)	16.09 (85.7)
1~4歳	全 国	13.35 (100.0)	4.10 (100.0)	5.10 (100.0)	
	政令都市	8.22 (61.6)	2.31 (56.3)	1.75 (34.3)	
5~9歳	全 国	6.95 (100.0)	3.37 (100.0)	2.04 (100.0)	
	政令都市	4.42 (63.6)	2.32 (68.8)	0.84 (41.2)	

() は全国を100とした際の割合



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約: 事故による死亡率は都道府県別にみると年齢階級により異なるものの2.9~5.1倍と大きな差がみられた。また、政令都市の死亡率は全国平均に比べ著しく低値であった。政令都市の交通事故による死亡率は全国平均の約60%、溺水は40%程度であった。この理由を明かにすることにより、わが国の子どもの事故による死亡率を減少させる手掛かりになるものと考えられた。